

障がい者アートフォーラム



日時 2018年 11月1日(木) 13:00~全体会 15:15~分科会
場所 大分県消費生活・男女共同参画プラザ「アイネス」



これからの障がい者アートの活動支援と活用促進について
全国で活発な活動を行う方々が熱く語るフォーラムです。皆様のご参加をお待ちしています。

全体会 (13:00~15:00) 定員 150名 障がい者アートに熱い思いを持って支援する方々による基調講演とパネルディスカッション

1. 基調講演

テーマ **Let's まぜこぜアート**



東ちづる氏 女優・タレント・Get in touch 理事長

広島県出身。会社員生活を経て芸能界へ。ドラマから情報番組のコメンテーター、司会、講演、出版など幅広く活躍。プライベートでは骨髄バンクやドイツ平和村、障がい者アート等のボランティアを25年以上続けている。2012年10月、アートや音楽、映像等を通じて、誰も排除しない、誰もが自分らしく生きられる“まぜこぜの社会”を目指す、一般社団法人「Get in touch」を設立し、代表として活動中。



東ちづる演出「平成まぜこぜ座 月夜のからくりハウス」



MAZEKOZEペインティング (毎年開催)

2. 大分県取組

「障がい者の芸術活動支援に関する提言」を踏まえた大分県の現状と今後について



大分大学教育学部 教授
田中 修二



3. パネルディスカッション ~障がい者アート活動への支援について~

国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の一体開催をはじめ、障害者芸術文化活動推進法の施行など、障がい者アートに注目が集まっている中で、支援者が果たすべき役割とは？



一般財団法人
たんぼの家 理事長
播磨 靖夫



ビッグ・アイ共働機構
アートエグゼクティブ
プロデューサー
鈴木 京子



社会福祉法人やまなみ会
やまなみ工房 施設長
山下 完和



NPO法人まる 代表理事
樋口 龍二

分科会 (15:15~16:45) 定員各 50名 全国で活躍する障がい者アートの支援者による事例発表、意見交換

1. 障がい者の芸術鑑賞支援、発表の場づくり

ファシリテーター ビッグ・アイ共働機構
アートエグゼクティブ
プロデューサー **鈴木 京子**
発表者 一般社団法人
ArtInterMix 代表 **中津川 浩章**

2. 障がい者アートを活用した商品化

ファシリテーター NPO法人まる 代表理事 **樋口 龍二**
NPO法人TSUNAGU FAMILY
代表理事 **城島 薫**
株式会社 PAPA'S&MAMA'S
代表取締役社長 **山下 完和**
社会福祉法人やまなみ会
やまなみ工房 施設長

3. 障がい者の芸術活動支援の効果について

(障害者芸術文化活動普及支援事業評価ガイドライン作成事業中間報告)
ファシリテーター NPO法人日本ファンド
レイジング協会
プログラムディレクター **清水 潤子**
発表者 厚生労働省 障害保健福祉部
障害者芸術文化活動支援専門官 **大塚 千枝 ほか**

主催：厚生労働省、文化庁、大分県、大分県教育委員会、第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会

第33回 **国民文化祭・おおいた2018** 2018 10/6土→11/25日
第18回 **全国障害者芸術・文化祭おおいた大会**



これはSPコードです。
専用の読み取り装置や
スマホアプリを利用して、
詳細を容易に聞くことができます

主な講演・発表者プロフィール



一般財団法人
たんぼの家 理事長
播磨 靖夫

障がいのある人たちの生きる場「たんぼの家」理事長。アートと社会の新しい関係を作るエイブル・アート・ムーブメント(可能性の芸術運動)、「障がいのある人と新しい働き方を提案する「Good Job」プロジェクト」を推進。平成21年度芸術選奨文部科学大臣賞(芸術振興部門)受賞。



大分大学教育学部 教授
田中 修二

1968年京都市生まれ。成城大学大学院修了。博士(文学)。専門は近代日本美術史。著書に『近代日本彫刻史』(2018年)など。大分県文化振興県民会議委員。2007年度より大分市と連携し、市民ボランティアと屋外彫刻作品のメンテナンスを行っている。



ビッグ・アイ共働機構
アートセグゼクティブ
プロデューサー
鈴木 京子

ビッグ・アイの仕事を通じて障がいのある人が表現者や鑑賞者として参加できる文化事業の企画、制作をおこなう。厚生労働省・文化庁2020年東京オリパラ競技大会に向けた障害者の芸術文化振興に関する懇談会委員。



社会福祉法人やまなみ会
やまなみ工房 施設長
山下 完和

1990年に「アトリエこぼっくる」を立ち上げ、互いの人間関係や信頼関係を大切に、伸びやかに、個性豊かに自分らしく生きる事を目的に様々な表現活動に取り組む。2008年5月からはやまなみ工房の施設長に就任し現在に至る。



NPO法人まる 代表理事
樋口 龍二

1974年生まれ。染色会社で職中に障がい者アートの表現に魅了され即転職。2007年の法人設立と同時に代表理事就任後、他団体と共同し九州/福岡を中心に障がい者の表現を社会にアウトプットする環境を構築している。



一般社団法人
ArtInterMix 代表
中津川 浩章

美術家、アートディレクター、キュレーター。「記憶・痕跡・欠損」をテーマに制作。国内外で個展、アートWS等を実施。岡本太郎美術館「岡本太郎とアールブリュット」展をはじめ、多くの展覧会を手がける。



NPO法人 TSUNAGU FAMILY
代表理事
株式会社 PAPA'S&MAMA'S
代表取締役社長
城島 薫

「PAPA'S&MAMA'S」では、婦人服、雑貨などライフスタイル全般にまつわる商品の販売やプロデュースを九州各地で展開。2012年に「TSUNAGU FAMILY」を設立。障害者アートを活用した商品開発、障害のある人ない人が一緒に絵画創作できる場「アートワークス」を開設し、商業施設などでのアートイベントを開催。

交通アクセス

大分県消費生活・男女共同参画プラザ「アイネス」

〒870-0037 大分市東春日町1番1号 Ns大分ビル1階

Tel : 097-534-4034 Fax : 097-534-0684

○ JR 大分駅市内中央口(北口) から徒歩約 15 分

○ 「高砂町アイネス前」(大分交通) バス停 目の前

車でお越しの際は、大分県立美術館など近隣駐車場をご利用下さい。(有料)



NPO 法人日本ファンド
レイジング協会
プログラムディレクター
清水 潤子

ケースウエスタンリザーブ大学マシケルソール社会学部大学院でソーシャルワーク修士、非営利組織経営管理修士を取得。社会福祉士、精神保健福祉士、日本評議会認定評価士。



厚生労働省 障害保健福祉部
障害者芸術文化活動支援専門官
大塚 千枝

国内外の劇場やアートNPOで舞台芸術の制作業務に従事し、行政、企業、教育機関等と共に、地域の芸術活動の実践に取り組んできた。障害のある人との事業にも携わり、2017年6月より現職。

アートフォーラム 応募用紙

応募用紙に必要事項をご記入の上、平成 30(2018)年 9月 25日(火)までに郵送、E-mail または FAX にて下記までお送りください。
※先着順で、定員に達し次第締め切らせていただきます。

申込先 お問合せ	第33回国民文化祭・おおいだ 2018 第18回全国障害者芸術・文化祭おおいだ大会 障がい者アートフォーラム事務局	TEL : 097-533-1797 shogai-art@tosep.co.jp 〒870-0011 大分県大分市春日浦843-27 (株) TOS エンタープライズ内	FAX : 097-534-2004 受付時間 平日 9:30~17:00
-------------	---	---	--

参加を希望される項目に○をつけてください。		※分科会を希望する場合は、第3希望まで記入してください。		
<input type="checkbox"/> 全体会	<input type="checkbox"/> 分科会	第1希望	第2希望	第3希望
※フォーラム参加者には別途参加決定通知をお送りします。				
フリガナ		年齢	お勤め先・所属	
氏名				
フリガナ				
住所	〒			
電話番号	() -	FAX 番号	() -	
Eメール				

以下はサポートを希望される方のみご記入ください

車いすでの来場 ある (名)	手話通訳・要約筆記 必要	障がい種別 ※障がいがある方は障がい種別をご記入ください	特記事項 ※その他、配慮を要する事項があれば、具体的に記入ください
---------------------	-----------------	------------------------------	-----------------------------------

※応募に伴う個人情報は適正に管理し、本事業以外の目的に使用することはありません。